

美方高校新聞



発行所 福井県立美方高等学校
編集責任者 新開部
印刷所 (有)鳥居印刷所

第31回校内レガッタ 一致団結 学年超えた熱い戦い



総合優勝した二年二ホーム

総合優勝した二年二ホーム。四C(鈴木、仲島、小林、小畑、川崎)。一年生ながらぴったり息を合わせ、二位の二一二に六秒差をつけた。仲島日菜乃さんは「ただただ嬉しい。三分を切ることを目標にみんなで漕ぎきった」と楽しそうに話した。

総合の部
ホーム対抗総合順位は、一位から三位までが二年生となった。二年生は昨年度からの経験を生かし、息の合った漕ぎをするクルーが多く、総合力で勝った。特に二一二は各種目で多数入賞し力の差を見せた。

女子の部

一位から五位までを二年生が独占した。優勝は二一A(林、鬼頭、山本、竹内、竹中)。竹中一葉さんは「まさか自分たちのクルーが勝てると思ってなかった。最後のレガッタ大会で優勝できていい思い出になった」と振り返った。

男子の部

一位から五位までを二年生が独占した。優勝は二一A(林、鬼頭、山本、竹内、竹中)。竹中一葉さんは「まさか自分たちのクルーが勝てると思ってなかった。最後のレガッタ大会で優勝できていい思い出になった」と振り返った。



白熱した男子決勝

ミックスの部

最終まで続いた競り合いの中、優勝したのは二一五A(泉、今村、竹田、上尾、松原)。上尾美穂さんは「決勝レースは緊張した。二一二が強く始めてはリードされたけど、逆転勝ちできてよかった」と笑顔で話した。

エルゴの部

個人は五〇〇メートル、団体は五人が五〇〇メートルずつ漕ぎ、計二五〇〇メートルで競う。会場には声援が飛び交い、大いに盛り上がった。

男子個人

優勝は二一T中村光彦さん。中学でボート部だった経験を十分生かし、一分三十五秒一位となった。「余裕はなかったがとにかく最後まで全力で漕いだ」と話した。

女子個人

優勝は二一五松原凜音さん。タイムは二分四秒二。「初めてのエルゴ大会で優勝できて嬉しい。来年も頑張りたい」と意気込んでいる。

男子団体

優勝は二一二。タイムは九分四秒四。松井蘭斗さんは「一人一人が全力で漕ぎ、最高の結果を出せたと思う」と語った。



ホーム一丸の応援

人が全力で漕ぎ、最高の結果を出せたと思う」と語った。女子団体 優勝は二一二。タイムは、十一分六秒二。満田美央さんは「まさか優勝できると思っていなくてびっくりした。みんな頑張ることができていい思い出になった」と明るく話した。

【記者の感想】

レガッタに参加して初めてボートを漕いでみて、風が気持ちよく感じた。練習は一日だけなのにクルーの息がぴったり合ったことに驚いた。ボート部の皆さんが会場準備をしてくれたり、艇に同乗してアドバイスをくれたりしたお陰で思い出に残るいい大会になった。美方高校だからこそできるこの伝統行事がこれからも続いてほしい。

R5後期生徒会長副会長信任 変革の風を起こす二十四名

九月十五日に令和五年度後期生徒会役員選挙が行われた。今回は信任投票となり、生徒会長に二一Tの本莊妃彩さん、副会長に二一Aの中西光咲さんが高い信任率で支持された。生徒会には二十四名が加入し、これからの美方高校のために活動している。今回は新生徒会長、副会長に意気込みや現在設置している目安箱について取材した。

会長 本莊妃彩

- ・意気込み
より良い学校をつくれるように誠心誠意努力します！
- ・どんな学校にしたいか
過ごしやすく楽しくて、新しいことを取り入れた学校
- ・今後の取り組み
生徒の意見を取り入れた校則改定と生徒会主催行事の内容検討
- ・生徒に発信したいこと
小さな意見でも目安箱などを通して

副会長 中西光咲

- ・どんな学校にしたいか
生徒が過ごしやすい学校
- ・意気込み
会長が悩んでいたら助け舟になれるよう精一杯努力します。一緒に学校生活をより良くしていきたいように頑張ります！



ぜひ、気軽に書いてください！

十二月七日に集計して見たところ二十件の意見が届いた。メイク・髪型・スマホ等について校則を見直してほしいとの意見が多かったようだ。全校生徒のみなさんは、これを機に校則がある理由について考えてみてはどうだろうか。



目安箱QR

生徒会では十一月二十七日から生徒玄関に目安箱を設置している。設置した理由は、学校を作っていくのは生徒会だけではなく、全校生徒で作っていくものだ。十二月七日に集計して見たところ二十件の意見が届いた。メイク・髪型・スマホ等について校則を見直してほしいとの意見が多かったようだ。全校生徒のみなさんは、これを機に校則がある理由について考えてみてはどうだろうか。まだまだ意見は少ないのでみなさんも意見や質問を書いてください。